

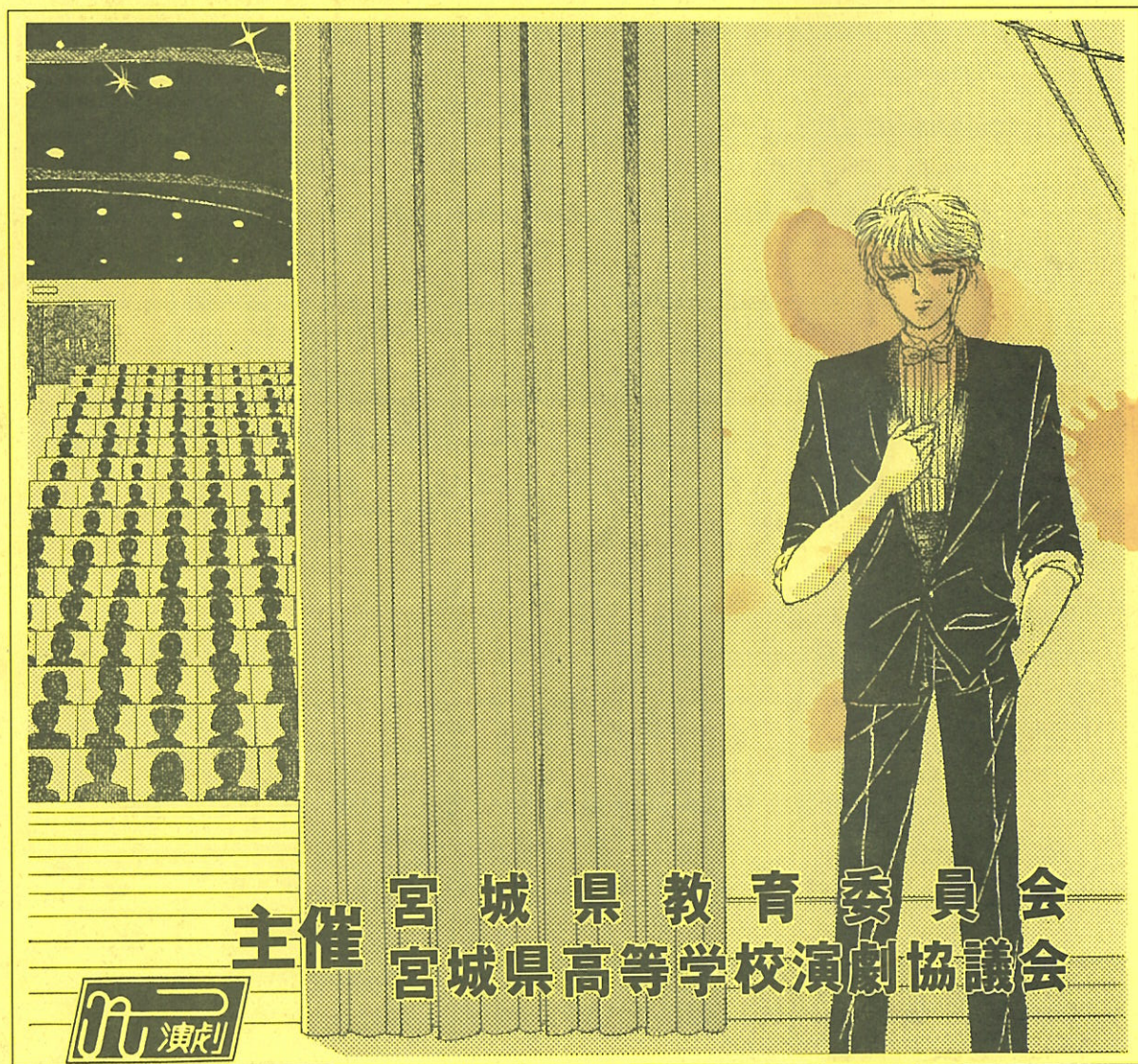
第25回宮城県高等学校演劇コンクール

第20回東北地区高等学校演劇コンクール宮城県予選

プログラム

期日 1987年11月14日(土)～15日(日)

会場 仙台市民会館小ホール



主催 宮城県教育委員会
宮城県高等学校演劇協議会



ご あ い さ つ

宮城県高等学校演劇協議会
会長 柴田 久

秋たけなわ、澄み切った空気の中で第25回宮城県高等学校演劇コンクールを開催できますことを嬉しく思います。

25年といえば4半世紀。その間さまざまな苦労や変化があったことでしょう。戦後間もない廃墟の中から産声を挙げた高校演劇はその組織も内容も充実して、今や、高等学校文化活動の重要な柱といわれるまでになりました。この長く険しい道のりを切り拓いてこられた草創期以来の指導者の方々に心からの感謝を捧げたいと思います。

今回審査員をお願いした豊博秋先生もおひとりであり、実に20年にわたって宮城県の高校演劇を直接ご指導くださいました。この機会をお借りしてあつく御礼申し上げます。

これに代えて、4地区より選ばれた12の代表校の皆さん、仙台地区の実行委員会の皆さんがすべての思いと力とを結集して、すぐれた舞台成果を生み出すことができますようお願いしてみません。

20年の歴史と伝統にしっかりと根を張って咲いた宮城の花が、東北へ全国へとさらに広い世界で咲き競う大輪となることを期待致します。

主催者であり、財政的支えでもある県教育委員会をはじめ、後援をいただいた各団体、その他関係各位のお力添えに心から感謝致しますとともに、観客の皆様のご支援により大会が成功裡に終ることができますようお願い申し上げます。

審 査 員

全国高等学校演劇協議会 豊 博 秋 氏
NHK 劇 団 俳 優 諸 石 茂 氏
宮城県高等学校演劇協議会 阿 部 順 夫 氏

< 式 次 第 > (土)部地区付表

◇開会式 11月14日(土)

1. 開会宣言
2. 挨拶
3. 審査員紹介
4. 日程説明、諸連絡

◇閉会式 11月15日(日)

1. 審査講評
2. 審査結果発表
3. 表彰
4. 挨拶
5. 閉会宣言

< リ ハ ー サ ル >

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11月12日(木)	準備	準備	常盤木	塩釜女	聖和	亘理	二女	準備					
11月13日(金)	準備	ドミニコ	泉館山	中新田	名取	ウルスラ	鼎が浦	準備					

< 上 演 >

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11月14日(土)	準備	開会式	上演① 鼎が浦	上演② 中新田	上演③ 泉館山	上演④ 塩釜女	上演⑤ ウルスラ	上演⑥ 二女	顧問研修会 若柳リハーサル				
11月15日(日)	準備	上演⑦ 若柳	上演⑧ ドミニコ	上演⑨ 亘理	上演⑩ 常盤木	上演⑪ 名取	上演⑫ 聖和	後夜祭	講評 閉会式				

< 当 日 役 割 分 担 >

	総務	会場	舞台	進行時	受付内	接待	記録	放送	警備
11月14日(土)	実行委	朴 沢	東 北 育 島	女 商	ドミニコ 尚 綱	三 島	広 瀬	白百合	仙 台
11月15日(日)	実行委	南 白百合	東 北 三 島 泉館山	宮 城	三 島	三 女 泉	一 女	向 山	尚 綱

- 注 1. 上演後幕間討論を行います。
2. 上演中の会場内でのフラッシュ使用撮影は固くお断りします。
3. 上演時間は多少変わることがありますのでご了承ください。

宮城県鼎が浦高等学校

*顧問 毛利理恵子

*部長 玉手 優子

*作 大久保 寛

お猿の学校

◎ スタッフ

演出	玉手 優子(2)
舞台監督	斎藤 幸恵(2)
舞台装置	斎藤 幸恵(2) 高橋 香(1)
	斎藤和佳子(1) 吉田ふみ子(2)
	高部江美子(2) 吉田 千佳(2)
舞台照明	三浦 幸(3) 高橋 弘美(3)
	三浦 潤(2) 鈴木 恵(1)
	茂木和佳子(1) 高野 通子(2)
	堺 恵美子(3) 熊谷 美和(3)
音効	小野寺真由美(2) 小湊 裕子(1)
	渡辺 幸江(2) 梶原さい子(2)
	小野寺房子(3) 佐藤由佳理(3)
衣裳,メイク	小野寺由佳(2) 武蔵ヒロ江(1)
	倉橋 睦美(1) 高橋 文恵(1)
	熊谷 佳奈(2) 玉手 優子(2)
	阿部智幸子(3)

◎ キャスト

サルビア先生	小野寺由佳(2)
マサル(子猿)	高部江美子(2)
モン太(＼)	梶原さい子(2)
キー子(＼)	渡辺 幸江(2)
エン子(＼)	熊谷 佳奈(2)
エテ子(＼)	高野 通子(2)
サルモネラ夫人(エテ子の母)	吉田 千佳(2)
サルチルさん(モン太の母)	高橋 文恵(1)
サルバルさん(キー子の母)	三浦 潤(2)
サルサ先生	小野寺真由美(2)
ヒビ博士	吉田ふみ子(2)

◎ あらすじ

あらっ? 森の広場から楽しそうなコーラスが聞こえてきたよ。そう!ここは「お猿の学校」ほら、いるいる。子猿が1, 2, 3, 4, 5匹。あの背の高いのはサルビア先生っていうんだよ。みんなが今やっているのは「D—夢・ドリームの時間」。みんなどんな夢を、どんな瞳で語るのかなあ。——ん? 誰か来たよ。あー、あれはみんなのお母さんたちだ。サルビア先生に何かかわけのわからないこと言ってる。「授業」とか「けじめ」とか「主要料目」とか、「受験戦争」がどーのこーの。ねえ、お母さん。ちょっとお化粧濃いんじゃない? 夢がいっぱい、希望がいっぱい。— だけど。それだけでは生きてはゆけないのです。

◎ 演出のことは

む、難しい。というのが実感です。「去年猫だったよねー。今年は何なの?」「猿だよ。」こんな場面もありました。だけど。精一杯頑張って創りましたのでその成果のほどをまずはご覧下さい。

宮城県 中新田高等学校

*顧問 菅 八重子

*部長 後藤 由香

*作 一柳 俊邦

うたかたの砦

◎ スタッフ

演出	後藤 由香(2)
照明	早坂 しず(2) 斎藤 由紀(1)
	堀越 律子(1)
大道具	早坂真由美(2) 堀越 律子(1)
	早坂 悟(3) 浅野 浩子(2)
	鈴木 理香(2) 斎藤 由紀(1)
小道具	後藤 由香(2) 大坂 亜希(2)
音効	佐藤 幸枝(2) 入野田ルミ(2)
メイク	浅野 浩子(2) 入野田ルミ(2)

◎ キャスト

根原まき	中川 久美(2)
(長男)根原信一	小山 浩(2)
(長女)根原冬子	早坂 恵美(1)
古沢美紀	村上ふさ子(2)

◎ あらすじ

1年前、交通事故で長女(冬子)を亡くした根原まきは、その時の保障金で家とトラックを購入した。そして「お金が全て」という価値観を持っている。しかし、長男の信一は、そんな母の考え方に不満を感じつつ来て来た。

今日、この一家は冬子の一周忌を迎えた。当日、まき、信一、そして冬子の担任・古沢美紀が人生や価値について話合う。そんな中、夫の正がトラックを運転していて交通事故を起こし人を殺してしまう。……。

人間の本当の幸せと価値について、そして家族の結びつきについて、答えの出ないまま物語は進んでゆく。

◎ 演出のことは

○ 作品を取りあげた動機

今の世の中は家族の間でさえも保険金殺人というばかげた事件がよく見られます。本当に、お金というものが家族の愛情よりも尊く、価値のあるものなのであるだろうかという事を訴えたかったから。

○ 劇づくりの上で力を入れた点

十人十色といわれるように一人一人その考え方が違います。根原まきと信一、または、古沢美紀といった異なる3人の考え方の違いから、互いに衝突してしまいます。そんな3人の独特の考え方のところに重点をおきました。

宮城県泉館山高等学校

*顧問 狩野 宗憲

*部長 細川千比呂

*作 如月 小春

D O L L

◎ スタッフ

演出 細川千比呂(2)
 助演出 鶉橋 浩子(1)
 舞台監督 細川千比呂(2)
 装置 全 員
 照明 細川千比呂(2) 相澤かおり(1)
 音効 相澤かおり(1) 細川千比呂(2)
 衣装,メイク 全 員

◎ キャスト

いづみ 堀籠 千秋(2)
 京子 阿部千賀子(1)
 麻里 青山 直美(1)
 みどり 鶉橋 浩子(1)
 右眼 細川千比呂(2)
 右耳 堀籠 千秋(2)
 左眼 青山 直美(1)
 左耳 細川千比呂(2)
 先生(声) "
 教師 "

◎ あらすじ

4月8日, 晴れ。今日から高校生。待ちに待った寄宿生活!!

奇しくも同じ部屋になった少女たち4人。いろんな活動に首を突っこみたいと、張り切るいづみ。ちょっと泣き虫で、甘えんぼみどり。医者の娘で入試もトップの、首席麻里。口が悪くて酒も煙草もやってしまう、つっぱり京子。こんなに様々な性格の少女たちが集まってしまって演じられる舞台劇。一体、何が起ころうでしょうか。はてさて、おったのしみっ!!

◎ 演出のことは

一人じゃ何もできない。二人でも力は限られる。三人寄れば文珠の知恵。
 四人でできるマージャン, ロン! 五人集まれば正義の味方, マスクマン。
 そしてここで10月7日にニューフェイス登場。六人になって、もう何も言うことはないさっ。
 オレ達の部はまったくだらけていて、まじに「演劇」なんてものをしていなかった。呆けてヘラヘラ遊んでいるだけだった。けど、オレ達は立ち上がった! この脚本を読んで一ぺんで気に入った。「これ演りたい」とみんなが言った。オレは頑張った。みんな頑張った。
 そして、10月4日に待望の脚本が渡された。おめでとう。障害も多かった。先生もなかなか出場を許してくれなかった。けど、オレ達は頑張ったんです。観て下さい。

宮城県塩釜女子高等学校

*顧問 石山 義章, 杉山 敏雄

*部長 佐藤まゆみ

*作 湯川 計伍

招 待 状

◎ スタッフ

演出 石井こずえ(3)
 舞台監督 瀬戸美奈子(1)
 助 " 新谷 一美(1)
 照明 内海 幸子(1)
 大道具 太田久美子(1)
 小道具 " "
 音効 新谷 一美(1) 遠藤 幹子(3)
 衣装,メイク 小野 淳子(1)

◎ キャスト

女性A 松坂 恵美(1)
 B 石井 美香(1)
 C 小野 淳子(1)
 D 佐藤まゆみ(1)
 E 千田 朕織(1)

◎ あらすじ

神から5人の女性に招待状が送られた。その内容は7時に三角公園の椅子にすわってまで、そうしたら贈り物が授かるということだった。だが、公園には椅子が4つしかない。そこで、1人の女性の案で椅子とりゲームをおこない、自分の力で4人の女性は椅子を獲得した。丁度、その時、教会の鐘が7時を告げた。1人をのぞいて女性は贈り物を手に入れた。それぞれの欲求を満たしてくれる贈り物を……。だが、結果として彼女達が手に入れたものは死だった。なぜなら、あたえられた物に無自覚となり、自己のサインをしるしてしまったからだ。1人、贈り物がなかった女性は生き残り、贈り物のかわりに不安を感じ、そしてこれからも、おそれと不安を感じて生きていかなければならなくなったのだ。

——招待状——より

◎ 演出のことは

3年生が2人、2年生がいらないということにもめげず、今年の1年生はよくやってくれたと思っています。がむしゃらに一生懸命やったので、ぜひ、その努力を舞台といっしょにみてください。とにかく、やるだけやります。!

聖ウルスラ学院高等学校

*顧問 菊池 節子, 佐藤 孝司
*部長 小林 紀子

*作 演 劇 部(創作)

すくい
Salut

◎ スタッフ

演出 高山久美子(3)
助 渡邊由美子(1)
舞台監督 小林 紀子(2)
助 菅田裕紀子(2)
装 置 白鳥江里子(1) 千葉 浩子(2)
岡本 祐子(2) 伊藤 理子(2)
渡辺 理佳(2) 猪狩小百合(1)
照 明 岩井幸貴子(2) 佐藤由美子(1)
音 効 鶴田 由美(2) 大久保有美(2)
武田 陽子(2) 小川奈穂子(2)
衣裳,メイク 米山 礼子(3) 太田 由香(3)

◎ キャスト

ローザ 米山 礼子(3)
ミルドガード 渡辺 理佳(2)
マリアンヌ 小川奈穂子(2)
エリザベス 伊藤 理子(2)
フランソワ 岡本 祐子(2)
シスターミッシェル(院長) 太田 由香(3)
シスタークリス 千葉 浩子(2)

◎ あらすじ

フランスの修道院付属女子寄宿舎。一見平和そうに見えていたその生活の中に、皮肉なつながりを持った2人の少女がいた……。

◎ 演出のことは

もし私たちが本当の友人を得たい、と思ったら、お互いのちがいを認め、過ちを認めることが必要だと思うのです。たしかにそんなつきあい方をしていって傷つくかもしれません。でもそれをこえるから、本当の友人を得ることができるのです。似た者同志が傷をなめあっても、それは一時のやすらぎでしかないのです。
そんな私たちの思いを、少しでもわかっていただけたら、うれしく思います。
このテーマを現実の女子高生活においてすると、生々しく、いやな気持ちになることを感じたので、ちょっと遠くに舞台をおき、テーマをしばらくこめるようにしました。
どうぞ最後まで御覧下さい。

宮城県第二女子高等学校

*顧問 清野 文耀
*部長 佐藤三千代

*作 榎原 政常

赤ずきん - ザ・紙芝居

◎ スタッフ

演出 富沢 恭子(2)
助 今井 典子(1)
舞台監督 佐藤 夏実(1)
照 明 佐藤三千代(2) 今井 典子(1)
装 置 卯月 幸子(1) 藤田 映(2)
千葉 智子(1)
音 効 磯野理美子(1) 佐藤 夏実(1)
衣裳,メイク 齋藤 佳子(2) 寺井 和泉(1)

◎ キャスト

赤ずきん 蓬田由起子(1)
赤ずきんの母 藤田 映(2)
母 狼 今井 典子(1)
仔 狼 千葉 智子(1)
女 神 齋藤 佳子(2)
解 説 者 寺井 和泉(1)
" 佐藤 夏実(1)

◎ あらすじ

ある日、赤ずきんちゃんはお母さんにたのまれておばあさんのお墓参りに行きました。ちょうど、7年前のあの日と同じように、かごにぶどう酒とお菓子をもって。
途中、花園により道した赤ずきんちゃんは、またも7年前と同じように狼さんと出会います。でもこの狼さんは7年前の狼さんではありませんでした。
さあ、どうなることでしょう!! あとは見てのおたのしみに……。

◎ 演出のことは

「舞台で全く別の人生、別の世界が展開される」すばらしく魅力的なことだと思いませんか? “演劇とは”などと難しく考えないで、単純に楽しんで、楽しめる舞台をめざしてきました。童話の登場人物から私たちの言いたかったことを感じていただけたら、そして楽しんでいただけたらとっても幸せです。

◎ 演出のことは

……

宮城県若柳高等学校

*顧問 中村 泰介, 菅原 敦夫

*部長 小野寺美紀

*作 川井 志保(創作)

原宿物語

◎ スタッフ

演出 小野寺美紀(1)
舞台監督 (1)
大道具 日下 美加(3) 佐藤 恵(1)
堀江 純子(1) 小野寺美紀(2)
末長 昭子(3) 若見 佳代(3)
照明 堀江 純子(1) 日下 美加(1)
末長 昭子(3)
音効 佐藤 恵(1) 小野寺美紀(2)
千葉由美子(3)
衣裳,メイク 佐藤 恵(1) 沼倉 有里(3)

◎ キャスト

ケイ婆さん 三浦美穂子(2)
村野加素地 菅原 麻紀(1)
円(まどか) 三浦 和恵(1)
笹川 良子 熊谷 亜矢(1)

◎ あらすじ

- “原宿物語”と“米の自由化”。(なんて, うざったいんでしょう。)
○東京の原宿で, “米の自由化” 反対デモをやる。(ふえい, ふえーい, ばおーん。)
○そこで, “米の自由化” について, ひと講釈。(ひんしゅくー)
○もしですよ, 米の輸入が自由化になると――

日本産“ささにしき”
1俵(60K)約2万円

米国産“ささにしき”
1俵(60K)約7千円

○味も風味も全て米国産が上, ときたら, あなたはどちらを食べ ますか・・・!?

“国は農業が土台”と, 持論を鼓吹した宮沢賢治
本当にこのまま米が自由化になったら
どうなるんですか。この日本……?

◎ 演出のことは

「おはようございます。」今回も昨年に引き続き, 人数不足の中, キャスト, スタッフ共に一つの作品を仕上げようと一丸となって取り組みました。今回の作品は創作脚本であり, しかも, 私達の周辺の場所を題材にしています。そのせいか, みんな“地”でやっているようです。みなさんは“原宿物語”と聞いてどんなことを想像したでしょうか!?

あとは見てのお楽しみに!!

それでは最後まで御覧下さいませ…………。

聖ドミニコ学院高等学校

*顧問 宮嶋 善哉, 小野寺いく子

*部長 阿部真奈美

*作 榊原 政常

しんしゃく源氏物語(末摘花の巻)

(Farce Sentimentale)

◎ スタッフ

演出 阿部真奈美(3)
助 (1) 葉坂 里恵(3)
舞監 佐藤ひとみ(3)
助 (1) 菅野かおり(2)
装置 佐藤ひとみ(3) 菅野かおり(2)
辻 恵子(3) 安藤 聡子(2)
石垣あゆみ(2) 花渕 弘枝(2)
照明 吉成 幸子(3) 今野 洋子(3)
小野寺理恵(2) 佐藤 友香(1)
音効 菊池真由美(2) 今野 京子(3)
前 知子(1) 清水恵美子(1)
衣裳,メイク 高橋 尚子(2) 千坂 文子(3)

キャスト

右 近 鈴木 久美(1)
左 近 千坂 文子(3)
少将 富澤 美樹(1)
宰相 森 亜矢子(2)
侍従 山本 貴江(1)
姫 前 知子(1)
叔母 橋本 知佳(1)

◎ あらすじ

時 平安時代 場所 常陸宮の古邸

末摘花というお姫様が, 源氏の君を信じ長い間待ち続けている。その間に侍女たちは次々とお邸を逃げ出してしまふ。広い邸にはあやと姫と2人きり……

「源氏の君さま, 早うに戻らはって……うち, あなたを信じて待っておりますのえ」
信じた者が勝つか, それとも…………?

◎ 演出のことは

昨年に続き, 日本のお姫さまシリーズです。

昔の劇でも, 内容は現代風で関西の言葉が出てきたり, まとめるのに苦労しました。とにかく, この劇の全てが聖ドミニコ学院演劇クラブの全てです。

劇を見て, 人を信じることの何かが伝われば幸いです。とにかく, 最後まで御覧下さい。

宮城県亘理高等学校

*顧問 亘理 正子, 武石由美子

*部長 鈴木 豊

*作 内木 文英

「ある死神の話」

◎ スタッフ

演出 鈴木 豊(3)
舞台監督 鈴木 純子(2)
装置 鈴木 豊(3)
照明 鈴木 豊(3) 吉田 満博(3)
音効 佐藤 英晃(3) 鈴木 純子(2)
衣裳,メイク 木村 早苗(2) 佐藤美香子(1)

◎ キャスト

死神A 鈴木 豊(3)
B 木村 早苗(2)
C(声) 鈴木 純子(2)
少年 佐藤美香子(1)

◎ あらすじ

ここは死神の世界, ここにも働きのいいものと悪いものがあるみたいである。一人の少年が死神Aにかつがれてこの世界にやってくる。死神Aは法律をおかすのを覚悟の上で, この少年を生きかえそうとするが……

◎ 演出のことば

このごろ慢性的に部員が少ないので, 自然と登場人物の人数で決めてしまうのでつらいところですが……

でもこの脚本はずい分前の作品みたいですがとても気に入ったのです。あたりまえのことだと言ってしまうまでもそれまでだけれど, やっぱり生まれた以上命を大切にしたい……死神Aにすっかりひかれてしまいました。

男だけのために書かれたものを, どこまで出来るか心配しています。

◎ 演出のことば

「おはようございます。」今回も昨年に引き続き……

常盤木学園高等学校

*顧問 今野 仁, 小野寺典世

*部長 本名由可子

*作 市堂 令

いつかみた夏の思い出

◎ スタッフ

演出 越田 美和(3)
助 吉武 伴子(3)
舞台監督 高橋 清子(2)
助 高橋 陽子(1)
照明 村上 浩子(1) 本名由可子(3)
渡辺 耕子(3) 村上富美子(3)
吉葉 香(1) 佐々木直美(1)
音効 小畑 智恵(1) 石垣 雅子(3)
遠藤 裕美(3) 山田 陽子(3)
堀田 晃子(1)
大道具 庄司 佳織(1) 森 美樹(3)
吉武 伴子(3) 渋谷 薫(1)
高橋 陽子(1)
衣裳,メイク 行方 俊恵(1) 越田 美和(3)
加藤 好美(3) 木皿 文子(3)
小泉 珠紀(3) 高橋 清子(2)
佐々木その(1)

◎ キャスト

菊池紀子 本名由可子(3)
伴 礼子 佐々木その枝(1)
藤波朋子 山田 陽子(3)
斉藤妙子 佐々木直美(1)
桂木秀子 石垣 雅子(3)
木下静江 堀田 晃子(1)
藤波朋子 村上富美子(3)

◎ あらすじ

森……? セツ森…… 珍しいもの, 珍しい虫

◎ 演出のことば

誰もが持っている純粋な子供の頃の思い出。
少しでも思い出していただけたら, 光栄です。

宮城県名取高等学校

*顧問 郡山輝子, 佐藤紀昌, 佐藤輝雄

*部長 安斎 則子

*作 梶山学園高等学校演劇部

潤色 名取高等学校演劇部

GLEAM

◎ スタッフ

演出 鈴木美栄子(3) 大石 量子(3)
 助 阿部なおみ(2) 藤岡加奈子(2)
 舞台監督 佐藤 美和(2)
 助 横尾 美幸(2)
 照明 斎藤 優子(2) 斎 真由美(3)
 八巻 文恵(1)
 音効 松本 千恵(2) 阿部 裕子(3)
 安斎 則子(3)
 衣裳,メイク 大石 量子(3) 木皿 美姫(2)
 曾我ゆかり(1)
 装置 阿部なおみ(2) 佐々木典子(1)
 真壁 浩二(3) 横山 礼治(3)
 渡辺 憲一(3)

◎ あらすじ

もうすぐクリスマス。そんな午後の公園。「サンタなんているわけないよな」と思っている子供たちと、受験の重圧で気がたっている女子高生の前に現れたへんてこりんなお婆さん。「あなたたちにい〜ものあげる」・「い〜もの？」・サンタクロースではなさそうだけでも、いつの間にやらお婆さんに乗せられ、ひきつけられて、子供達と女子高生は夢の世界へ。ヨットに乗って闇の海を越え、嵐の海を越えて、オープンハイマーメーデルハウスデロリコン島一略してオメデ島へ。そこで現れた5人の男たち、オメデ島の番人だとか。

キャー！ どうなるの？子供たちは？高校生は……？

あなたは今「夢」を忘れていませんか？幼い頃に抱いた夢、無邪気に遊んでいた頃思っていたこと、信じていたこと…… ねえ〜もう一度思い出してみませんか？私達と一緒に、ネッ！

◎ 演出のことは

各校の演劇部のみなさんおはようございます。名取高校演劇部です。

去年は直前になってあわてたから、今年は夏休み前からじっくり時間をかけて取り組んでいこう！——しかし、現実には厳しいものです。なんだかんだしている間にこんな日数になっちゃいました。——ショック!! ——

今年は、文化祭が10月25日とコンクールより遅いので、仙南大会が初・初舞台になるわけです。是非、もう一度という人がいたら文化祭にも見に来て下さいねーっ。っと、話が思わずずれてしまいましたが、とにかく「これが名取高だ！」と言えるような舞台を造ってつもり……かな？ まぁ〜っ、見てやって下さい。

——タノシンデイタダケタラ サイワイ デス ——

聖和学園高等学校

*顧問 佐藤喜志夫

*部長 安部川可奈美

*作 佐藤喜志夫(創作)

楽にさせて下さい

◎ スタッフ

演出 安部川可奈美(3)
 舞台監督 高橋 有紀(2)
 装置 小野寺由紀子(2) 鹿野 菊枝(3)
 高橋 有紀(2)
 照明 佐藤真志美(3) 倉内 美幸(3)
 音効 相馬 美紀(3) 板宮多希子(2)
 衣裳,メイク 鹿野 菊枝(3)

◎ キャスト

人間1 今野有里子(3) 7 安部川可奈美(3)
 2 千坂 宏美(1) 8 佐藤 実香(3)
 3 高橋 由美(2) 9 安達三希子(2)
 4 庄司架奈子(3) 10 小野寺美代子(2)
 5 桑原由佳子(1)
 6 小野寺恵子(3)
 人間?!? 佐々木芳江(3)

◎ あらすじ

先生、何もかも先生の思い通りになるなんて思わないで。私達はロボットじゃない、籠の鳥じゃない。私にはそんな勇気はありません。私はどうすればいいの？みんな何を急いでどこに行こうというの？縛らないで、自由にして、私を自由にして!!

今どんな場合だっというのさ、馬鹿にすんじゃないよ。何むずかしく考えてんだよ、簡単に行く簡単に。一体何をしようというの？馬鹿気た事はやめなさい。

1人にしないで、一緒に連れて行って——っ!! 好きにさせてよ、お願いだから好きにさせてよ。あなたにとって本当の自由とは、楽になるという事はどんな時、どんな事なのでしょう。——楽にさせて下さい——

◎ 演出のことは

おはようございます。私が演出です。そして後にいるのが我が演劇部を支え、もりあげてくれている、すばらしい部員達です。

さて、今回は“本当の自由とは、楽になるという事は何か？”というちょっと難しい問題をテーマにしました。その中には、いつでも何かがあはしくて、いつでも何かを待っている。そして世の中に私を必要としてくれる人間がいるのだろうか。そんな2つの感情が混ざった高校生の姿を充分取り入れ、その中で、本当の自由とは、楽な時とは、どんな時か？幕があいた時、私達は問いかけます。そして幕が降りる時、あなたの心の中で1つの結論が生まれるはずですよ。

私達がどこまで演じられるかじっくり御覧下さい。そして一緒に歩みましょう。

……輝きながら……

昭和62年度宮城県高等学校演劇コンクール地区大会一覧

*印創作

◎仙台地区大会A (第20回仙台市高等学校演劇祭) 9校参加

10月24日(土)25日(日) 仙台市民会館小ホール

宮城県第三女子高等学校	「あ・ら・か・る・と」 Kingyo作 *	優良賞
聖ウルスラ学院高等学校	「Sulut(すくい)」 演劇部作 *	優秀賞
宮城県仙台南高等学校	「トロイメライ」 如月小春作	
宮城学院高等学校	「オズの魔法使い」 長谷川理恵作	
南光学園東北高等学校	「A GAME OF CHANCE」 演劇部作 *	優良賞
仙台女子商業高等学校	「遠山桜しりげ節」 まつおただお作	
朴沢女子高等学校	「風船色」 角屋真紀子作	
常盤木学園高等学校	「いつかみた夏の思い出」 市堂令作	最優秀賞
宮城県泉館山高等学校	「DOLL」 如月小春作	優秀賞

◎仙台地区大会B (第20回仙台市高等学校演劇祭) 10校参加

10月31日(土)11月1日(日) 仙台市戦災復興記念館ホール

仙台高等学校	「かざぐるま」 安海宏美作	
仙台白百合学園高等学校	「ダイナマイトと蛙たち」 柴田北彦作	舞台装置賞
宮城県宮城広瀬高等学校	「宝くじは真昼の夜の夢」 松本和子原作	
三島学園女子高等学校	「ひきしまったAライン」 演劇部三年作 *	優良賞
宮城県第二女子高等学校	「赤ずきんザ・紙芝居」 榊原政常作	優秀賞
聖ドミニコ学院高等学校	「しんしゃく源氏物語」 榊原政常作	優秀賞
聖和学園高等学校	「楽にさせて下さい」 佐藤喜志夫作 *	最優秀賞・創作脚本賞
仙台育英学園高等学校	「ハッシュ・パイ」 鴻上尚史作	優良賞
尚綱女学院高等学校	「童話裁判」 森本ゆかり作	
宮城県第一女子高等学校	「学校」 井関義久作	

◎南部地区大会 10月20日(火) 岩沼市民会館 6校参加

宮城県白石女子高等学校	「赤ずきんザ・紙芝居」 榊原政常作	舞台美術賞
宮城県立船岡養護学校	「うたよみざる」 川村光夫作	演技賞
宮城県農業高等学校	「エレベーター」 黒羽英二作	演技賞
宮城県名取高等学校	「GLEAM」 相山学園高等学校演劇部作	優秀賞
宮城県名取北高等学校	「ブラック・コメディ」 ピーター・シェイファー作	優良賞
宮城県亘理高等学校	「ある死神の話」 内木文英作	最優秀賞

◎東部地区大会 10月23日(金) 24日(土) 多賀城市文化センター 7校参加

宮城県気仙沼西高等学校	「銀河鉄道の夜」 北村想作	
宮城県松島高等学校	「夢売り役者」 阿部到作	
宮城県塩釜女子高等学校	「招待状」 湯川計伍作	優秀賞
宮城県多賀城高等学校	「いじめ方程式」 久保田邦明作	優良賞
宮城県鼎が浦高等学校	「お猿の学校」 大久保寛作	最優秀賞
宮城県利府高等学校	「面接試験」 石山浩一郎作	
石巻市立女子高等学校	「童話裁判」 森本ゆかり作	演技賞

◎北部地区大会 11月6日(金) 金成町けやき会館 5校参加

宮城県若柳高等学校	「原宿物語」 川井志保作 *	最優秀賞
宮城県涌谷高等学校	「こいこく」 野崎氏治作	
宮城県南郷高等学校	「おーい救けてくれ！」 ウィリアム・サローヤン作	演技賞
宮城県中新田高等学校	「うたかたの砦」 一柳俊郎作	優秀賞
宮城県黒川高等学校	「新・ちょっと幽霊ハブニング」 演劇部作 *	

宮城県高校演劇コンクールのあゆみ

第1回 (昭38.11)	最優秀 尚綱 「娘たち」	第14回 (昭51.11)	最優秀 聖和 「ある群れ」
第2回 (昭39.11)	最優秀 育英 「同志の人々」	優秀 名取 「聞いてる?ミランダ」(創)	優秀 第二女子 「夢の中へ」(白百合?)
第3回 (昭40.11)	最優秀 仙台第三「轍」	第15回 (昭52.11)	宮城県教育委員会との共催となる。
特別賞 三島 「伽羅先代萩」	最優秀 常盤木 「三途の川を渡りそこねた少女の話」(創)	優秀 聖和 「薯の煮えるまで」()	優秀 鼎が浦 「埴生の宿」
第4回 (昭41.11)	最優秀 仙台工 「木龍うるし」	第16回 (昭54.1)	地区大会(予選)制となる。
優秀 白百合 「スカパンの悪だくみ」	優秀 名取 「次郎案山子」	最優秀 東北 「蜉蝣」(創)	優秀 宮城 「不思議な国のアリス」(創)
第5回 (昭42.11)	最優秀 宮城 「静かなる朝」	優秀 常盤木 「懸陰」(創)	優秀 名取 「遠くへ行ったら又三郎」
優秀 仙台女商 「母と娘」	優秀 電子 「第三の火の中で」	第17回 (昭54.12)	最優秀 朴沢 「しんでえら・げえむ」
第6回 (昭43.11)	この年より仙台市民館が主催。仙台市高校演劇祭となる。	優秀 仙台第一 「永い冬の終わる頃」(創)	優秀 第二女子 「栄光の日」
最優秀 仙台工 「ふきだまり」	優秀 宮城 「唾のユミュリュス」	第18回 (昭55.12)	最優秀 黒川 「無(ガラスの迷路)」(創)
優秀 電子 「轍」	第7回 (昭44.11)	優秀 朴沢 「にひ色の砦」	優秀 鼎が浦 「蚊遣火」
第8回 (昭45.11)	最優秀 仙台工 「面(ますく)」(創)	優秀 名取 「おやめ!眠り犬を起こすのは」	第19回 (昭56.12)
優秀 宮城 「高等学校数字1」	優秀 白百合 「長い長い橋の上で」	最優秀 鼎が浦 「灰スクール」	優秀 宮城 「Daydrem believers」(創)
第9回 (昭46.11)	最優秀 仙台工 「勉強を邪魔する奴は誰だ!	優秀 名取 「柳」	第20回 (昭57.12)
優秀 第三女子 「墨東記」	最優秀 名取 「魔女宣言」	最優秀 名取北 「遠くへ行ったら又三郎」	優秀 宮二女 「生姜入りパンを焼く日」(創)
第10回 (昭47.11)	優秀 尚綱 「虫めずる姫」	優秀 涌谷 「黒いゲーム」	第21回 (昭58.12)
優秀 聖和 「遠いふるさと」	最優秀 ウルスラ 「ある群れ」	最優秀 仙台工 「BLUE」	優秀 黒川 「登(あしおと)」(創)
第11回 (昭48.11)	優秀 常盤木 「試行錯誤」	優秀 名取北 「ブンナよ木からおりてこい」	第22回 (昭59.11)
優秀 白百合 「ある午後」	最優秀 名取 「影ぼうし記行」	最優秀 名取北 「RECAST」(創)	優秀 常盤木 「Far away -ヴァニティーズより-
第12回 (昭49.11)	優秀 第三女子 「墨東記」	優秀 若柳 「萩の花」	第23回 (昭60.11)
最優秀 名取 「影ぼうし記行」	最優秀 常盤木 「オ女ありて」	最優秀 若柳 「かげの砦」	優秀 名取 「DOLL -光の国へ-
優秀 常盤木 「当世幻談」	優秀 仙台女商 「試行錯誤」	優秀 ウルスラ 「心の中の悪魔(若草物語)」	第24回 (昭61.11)
優秀 ドミニコ 「静かなる朝」	優秀 育英 「ボンコツ車と五人の紳士」	最優秀 三島 「薄光」	優秀 常盤木 「トロイメライ~子供の情景~」
第13回 (昭50.11)	最優秀 名取 「流れ星四番」	優秀 鼎が浦 「11ぴきのネコ」	
優秀 聖和 「遠いふるさと」	優秀 仙台 「遊びましょ」		

大会役員

大会実行委員会
 実行委員長 柴田 久 (仙台)
 実行副委員長 四竈 真永 (聖和)
 実行副委員長 稲辺 良 (若柳)
 事務局長 阿部 順夫 (仙台)

<総務> 渡辺 喜雄(仙台), 小山 賢治(広瀬), 星 信雄(東北)

渡辺 繁(仙工), 細川 純子(宮城)

<接待> 徳山昭光子(三島), 松崎さゆり(白女), 大橋由紀子(泉)

<受付> 大石 孝(尚綱), 小栗 典子(三島)

<進行> 大石 和彦(三女), 藤村 延子(女商)

<舞台> 渡部 進(育英), 伊東 俊(黒川), 斎藤 信雄(東北)

川名 又一(名取北), 五十嵐伊雄(石市女)

<会場> 穂積 正一(白百合), 高橋 義仁(仙台南), 伊藤真理子(朴沢)

<警備> 庄司 賢三(向山), 渡辺 重孝(尚綱)

<生徒実行委員会>

◇総務

委員長 岸本 麻江(宮城3) 記録 市川 文子(白百合2)
 副委員長 神村 麻里(向山3) 林 真代(白百合2)
 大谷 英雄(仙工2)

◇企画

◎神村 麻里(向山3) 山口 雅美(一女1)
 ○林 真代(白百合2) 神田 奈々(女商2)
 ○市川 文子(白百合2) ◇舞台
 黒沢 織江(白百合1) ◎千葉 享(東北3)
 大須賀 由紀子(尚綱2) ○日野 暁(育英3)
 佐藤 江利子(三女2) 菅野 かおり(ドミニコ2)
 平子 佳重(泉2) 清水 恵美子(ドミニコ1)
 橋本 理絵(広瀬1) 佐藤 真志美(聖和3)
 早坂 咲重(三島1) 佐川 太(東北3)
 渡部 要子(三島1) 関 伸子(三島3)
 岩田 悦子(朴沢2) 菊地 勝(東北3)
 小畑 智恵(常盤木1) 斎藤 仁美(仙台2)
 渋谷 薫(常盤木1) 鎌田 年絵(仙台2)
 斎藤 美由紀(朴沢1) 三浦 一憲(東北2)
 尾形 円(一女2) 岩沢 実次(東北2)
 伊藤 美雪(女商2) 熊谷 真吾(東北2)
 渡辺 俊則(東北2)

◇広報

◎大谷 英雄(仙工2)
 ○板宮 多希子(聖和2)
 千頭 美幸(仙台南2)
 菊地 由希(仙台南2)
 引地 彩子(向山1)
 穴澤 由佳(尚綱2)
 酒井 福子(三女1)
 瀬戸 亜希子(泉2)
 鈴木 晶子(広瀬2)

大会事務局

〒980 仙台市荒巻字国見東山12番10号
 仙台高等学校内

宮城県高等学校演劇協議会事務局

(阿部順夫・渡辺喜雄)

TEL 022 - 271 - 4471

印刷 (有限会社) 仙萩印刷

TEL 022 - 223 - 2465(代)

宮城県高等学校演劇協議会加盟校

尚綱女学院高等学校
仙台女子商業高等学校
仙台工業高等学校
東北高等学校
東北電子工業高等学校
聖和学園吉田高等学校
仙台育英学園高等学校
宮城学院高等学校
仙台白百合学園高等学校
宮城県名取高等学校
聖ウルスラ学院高等学校
常盤木学園高等学校
宮城県第三女子高等学校
仙台高等学校
宮城県仙台向山高等学校
宮城県泉高等学校
宮城県塩釜女子高等学校
宮城県鼎が浦高等学校
宮城県白石女子高等学校
宮城県黒川高等学校
宮城県多賀城高等学校
宮城県第二女子高等学校
朴沢女子高等学校

宮城県涌谷高等学校
三島学園女子高等学校
宮城県仙台第一高等学校
宮城県立船岡養護学校
宮城県南郷農業高等学校
仙台商業高等学校
聖ドミニコ学院高等学校
宮城県仙台南高等学校
宮城県名取北高等学校
宮城県亘理高等学校
宮城県中新田高等学校
宮城県築館高等学校
宮城県第一女子高等学校
宮城県松島高等学校
宮城県若柳高等学校
石巻市立女子高等学校
宮城県農業高等学校
宮城県河南高等学校
宮城県宮城広瀬高等学校
宮城県仙台第二高等学校
宮城県利府高等学校
宮城県気仙沼西高等学校
宮城県泉館山高等学校

(46校)